

草の根育成助成事業

2022年度

レッツボウサイプロジェクト ボウサイこども食堂 & ボウサイウォーク ～継続事業2年目～

特定非営利活動法人
防災コミュニティネットワーク

特定非営利活動法人防災コミュニティネットワーク

VISION - 目指す社会のすがた-

災害時に力を発揮する強いコミュニティ

MISSION - 私たちの使命-

防災活動をとおしたコミュニティの形成と
そのネットワークの構築

課題～活動の背景～

地域コミュニティの希薄化

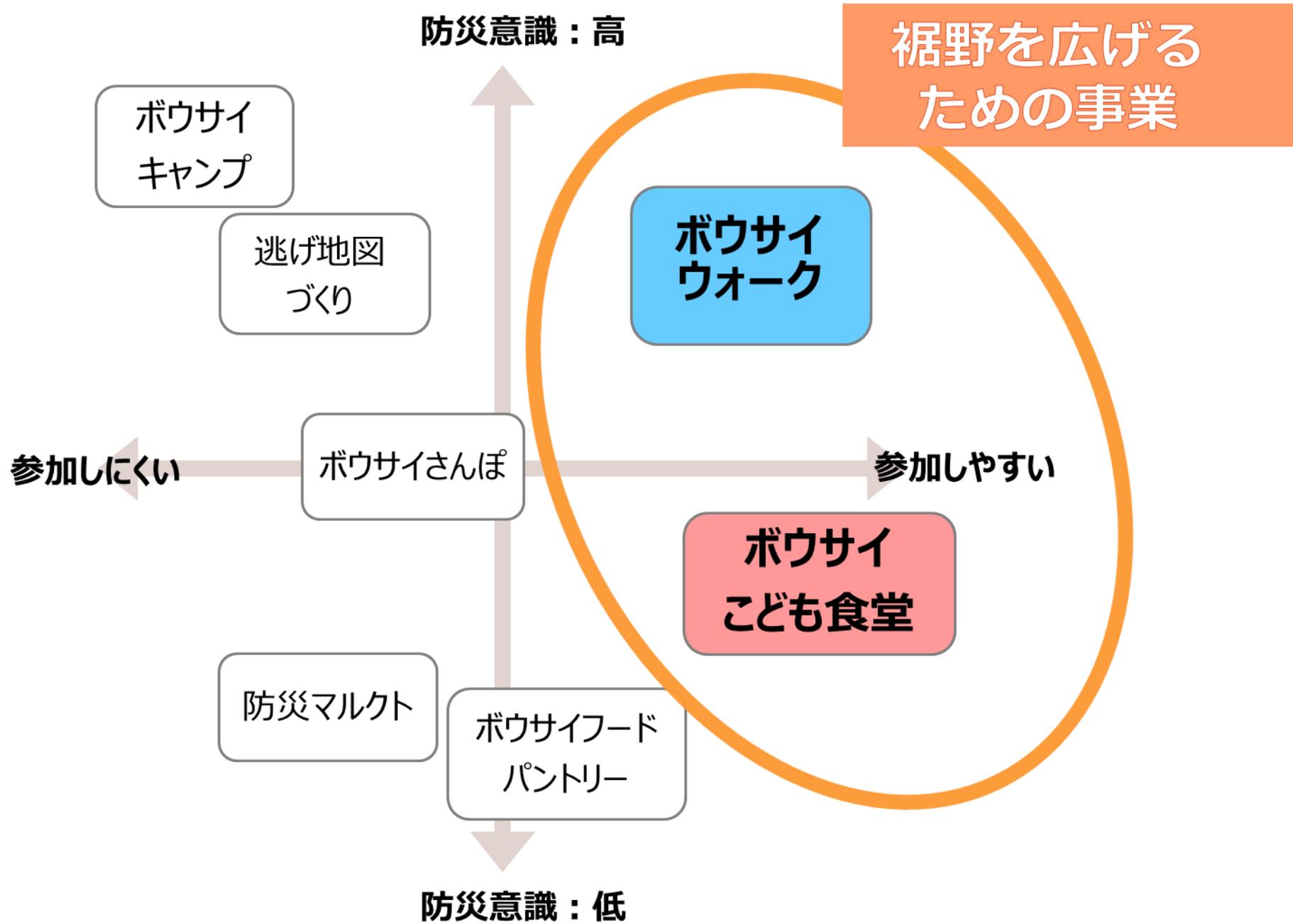
担い手不足

単身世帯増

既存コミュニティの機能不全

令和3年度からスタート 「レッツボウサイプロジェクト」

レッツボウサイプロジェクトとは
気軽に、身近に、楽しく、
さまざまな防災体験をとおして
防災関係人口を増やすプロジェクト
です。



公益財団法人
草の根事業育成財団
Presented by
NPO法人防災コミュニティネットワーク

毎月第3木曜日
17:00～18:30

ボウサイ こども食堂

ボウサイみんなの食堂では「アルファ米」を使用しています。
防災食を日常食に。防災食をもっとおいしく。

子どもも大人も無料です！

【予約制】申込フォーム <https://forms.gle/fLThWbEkrP79ciZeA>
URL・QRコードまたはお電話にてお申込みください。

- ・20名定員（予約順）
- ・新型コロナウイルス感染症対策のため
テイクアウト容器での提供となります。（店内飲食不可）
- ・メニューは「ボウサイカレー」を予定しています。



【NPO法人防災コミュニティネットワーク】
杉並区西荻北3-20-12 防災コミュニティカフェ ひので
TEL:03-5382-9600 Mail:eatsbosaicn@gmail.com
HP:bosaicn.net



～防災を知る～
防災士による
ワークショップ

～地域を知る～
多世代の交流の場
居場所づくり



日時：毎月第3木曜日 18:00～19:30
(R4.7月～R5.3月 全9回 定員50名延べ450人)

目的：地域住民同士の顔の見えるつながりを創出する

内容：①非常食を活用した食事の提供
②専門家によるワークショップ
③防災意識尺度を図るためのチェックリストの
実施(国立研究開発法人防災科学技術研究所作成)

効果：地域交流の拠点、高齢者等孤食の解消、
貧困対策、防災意識の向上

実施体制：事前に記載した要員以外に、東京医療保健
大学災害看護コース学生、日本赤十字看護大学の学生
が食堂ボランティアとして活動します。

ボウサイこども食堂

計画

目的：

地域住民同士の顔の見えるつながりを創出する

内容：

- ①非常食を活用した食事の提供
- ②専門家によるワークショップ
- ③防災意識尺度を図るためのチェックリストの実施(国立研究開発法人防災科学技術研究所作成)



予定参加人数：

R4.7月～R5.3月全9回
定員50名延べ450人



結果

目的の達成度：

2年目は地域の学生ボランティアの卒業があったが、新たなボランティアが定着。参加者のリピート率は8割、独居高齢者への周知にも力を入れ利用者の広がりをみせた。

内容について：

- ①非常食を活用した食事の提供に加え、自宅で保管できる個食用備蓄を配布し防災意識向上につなげた。
- ②リーフレットの配布と防災士による防災豆知識としてワークショップを開催、すぐに実践できる防災術など好評を得た。
- ③チェックリストは現在集計中でおおむね向上が見られた。

参加人数：

各回50食達成
計450食の配布。配食スタイルに変更したことでより多くの方が非日常食(アルファ米)を日常食として楽しんでいただくことができた。

ボウサイこども食堂の様子



レッツボウサイプロジェクト Presented by NPO法人防災コミュニティネットワーク

ボウサイ ウォーク

もしもに備えて用意した非常用リュック。中身はバッチリ！いつでも避難OK！…それ、本当ですか？
ボウサイウォークでは実際の避難も想定しながら、荷物を持って広域避難所までウォーキングします！
このイベントを通して今一度防災グッズの見直し、疲れのない歩き方を学びましょう。
第一弾は、西荻窪駅から桃井原っぱ公園まで歩きます！

申込はURL
またはQRコードから
<https://forms.gle/xWIRG1Yr4JJqT8Pv6>

9月25日(日)
10:00～13:00 (雨天中止)
西荻窪駅から桃井原っぱ公園まで歩きます！

先着15名
※定員になり次第メ切

対 象：小学生以上～どなたでも
持ち物：空のリュックやバック・レジャーシート・飲み物
(防災食や水などの中身はこちらで用意いたします。
終了後はそのままお持ち帰りいただけます)

参加費：500円
(防災食セット・ドリンク付き)

メ 切：9月15日(木)
【防災コミュニティネットワーク】
杉並区西荻北3-20-12-104
TEL:050-3612-4429
Mail:info@bosaicn.net

公益財団法人
草の根事業育成財団

日時：令和4年 9月25日(日) 10:00～13:00
令和4年10月16日(日) 10:00～13:00
令和4年11月19日(土) 13:30～15:30
令和5年1月15日(日) 13:30～15:30
令和5年2月4日(土) 13:30～15:30
令和5年3月12日(日) 13:30～15:30

目的：地域住民同士助け合いと結束力の向上を目指す

内容：①避難持ち出し袋を持参し、広域避難所まで
仲間とウォーキングを行う
②避難経路での危険箇所の確認
③桃井原っぱ公園までウォーキング

効果：避難持ち出し袋の中身の見直し、参加者同士の
結束力の向上、防災意識の向上

実施体制：記載された要員以外に、東京医療保健大学
災害看護コース学生がボランティアとして活動します。



～自助～
自分に合った
備えの気づき

～共助～
仲間と歩くことで助け
合いの精神を培う



ボウサイウォーク

計画

目的：

地域住民同士助け合いと結束力の向上を目指す

内容：

- ①避難持ち出し袋を持参し、広域避難所まで仲間とウォーキングを行う
- ②避難経路での危険箇所の確認
- ③桃井原っぱ公園までウォーキング



予定参加人数：

R4.9月～R5.3月全6回
定員各15名



結果

目的達成度：

昨年度に引き続き町会長、防災会会長、協議会会長の参加があった。孫と参加した高齢者もあり非常に楽しめる事業をおこなうことができた。

内容について：

- ①空のバッグを持参いただき非常食や水は当団体が配布。自宅に持ち帰っていただくことで参加者の「備え」につなげた。
- ②避難経路だけではなく、街中にある防災に関する情報の意味を理解し、活用できるよう展開。参加するだけで終わるのではなく、居住地域に戻り平時から意識することが防災力向上、各々が持つコミュニティに広がると考える。
- ③非常持ち出し袋を持つウォーキングは予想以上に負担が大きく、講師による疲れない歩き方の指導は大変役立った。

参加人数：延べ参加人数90名。リピート率は2割。



ボウサイウォークの様子



1年目の課題

- ・会食形式での開催の難しさ。
- ・顔の見えるつながりの形成の難しさ。
- ・防災ウォークにかかる予算的な問題。



2年目の結果

- ・会食形式が可能になり顔の見えるつながりが増えた。
- ・防災ウォークに町会長はじめ役員が参加することで自治会が主体となって定期開催の話が進みつつある。



今後の展望と展開

- ・参加者予備軍への周知の拡大とともに、支援者を増やすための周知活動も積極的におこなう。
- ・回数が増え、世代を超えた顔の見えるつながりの構築が、地域住民の共感を呼ぶこととなると考え展開していく



2年目の課題

- ・顔の見えるつながりの構築のためには開催日数が少ない。
- ・開催数を増やすための予算の確保。